

報道機関各位

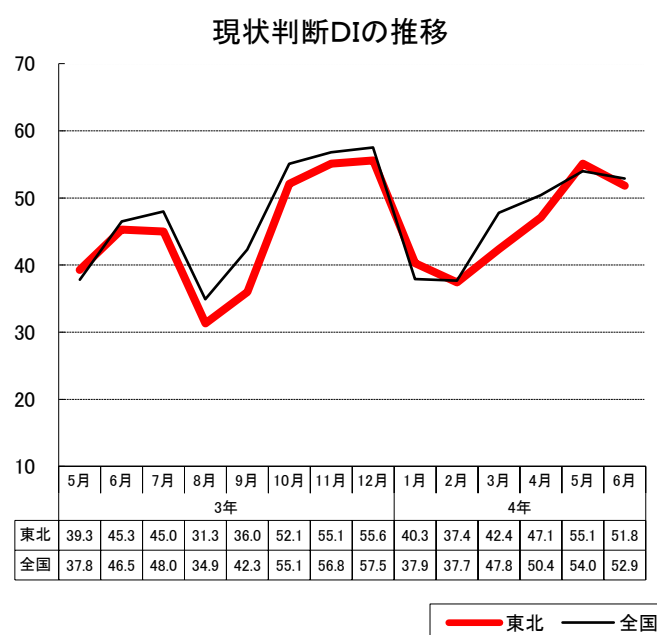
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年6月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年6月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

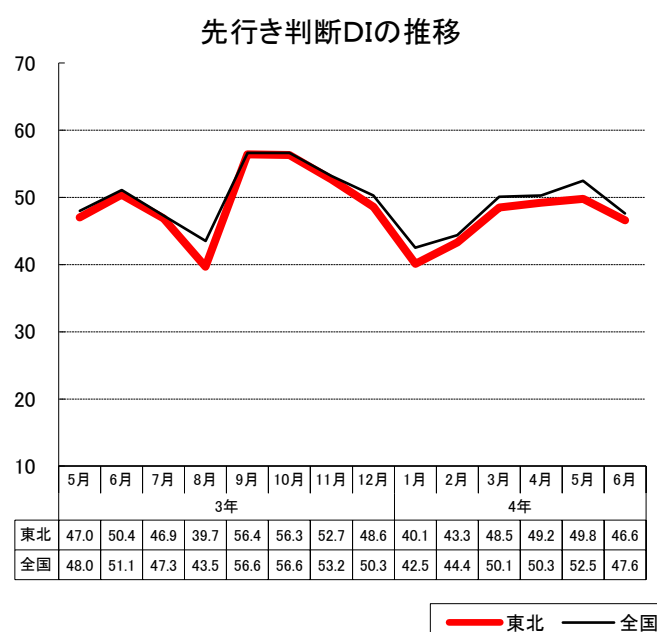
（1）現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「51.8」と4か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲3.3 ポイント低下した。



（2）先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

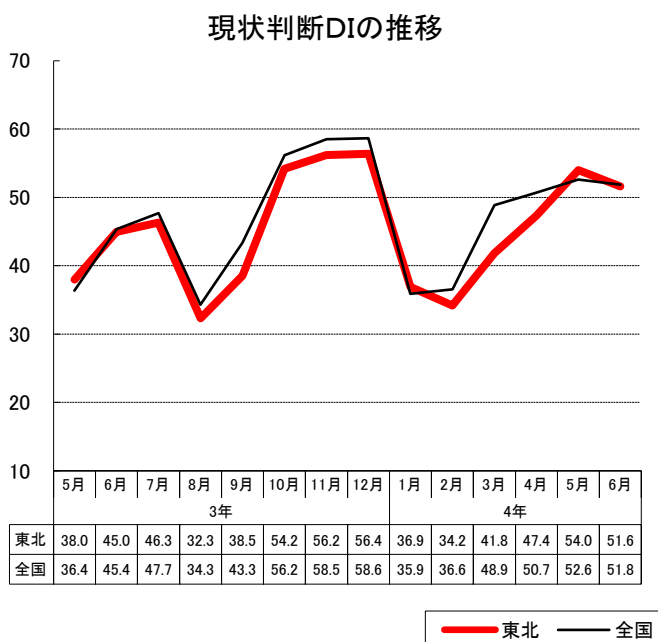
先行き判断 DI は「46.6」と5か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲3.2 ポイント低下した。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断 DI は「51.6」と4か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲2.4 ポイント低下した。



○家計動向関連…タクシー運転手、美容室、観光型ホテル・旅館等の業種でDIが前月を上回ったが、スーパー、衣料品専門店、百貨店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「51.1」(▲3.5)と、4か月ぶりで前月を下回った。

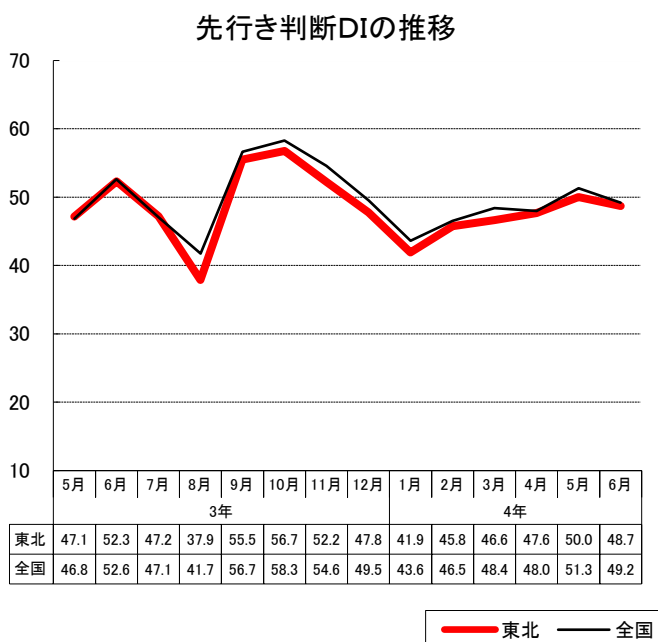
○企業動向関連…金属製品製造業、その他非製造業[飲食料品卸売業]、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所等の業種でDIが前月を上回ったが、金融業、出版・印刷・同関連産業、建設業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「50.0」(▲1.4)と、4か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「57.9」(+2.6)と、3か月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断 (2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断 DI は「48.7」と5か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.3 ポイント低下した。



○家計動向関連…通信会社、乗用車・自動車備品販売店、商店街等の業種でDIが前月を上回ったが、百貨店、コンビニ、一般レストラン等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「48.3」(▲0.8)と、5か月ぶりで前月を下回った。

○企業動向関連…建設業、金融業、輸送用機械器具製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、食料品製造業、土石製品製造販売、農林水産業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「47.1」(±0.0)と、2か月連続で横ばいとなった。

○雇用関連…DIは「53.9」(▲6.6)と、5か月ぶりで前月を下回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）D I

	3年								4年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北現状	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2	56.4	36.9	34.2	41.8	47.4	54.0	51.6
家計動向関連	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3	55.4	33.6	31.0	42.5	46.8	54.6	51.1
企業動向関連	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1	56.6	40.0	38.6	40.0	47.1	51.4	50.0
雇用関連(参考)	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7	62.5	51.3	46.1	40.8	51.3	55.3	57.9

（２）先行き判断D I

	3年								4年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北先行き	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2	47.8	41.9	45.8	46.6	47.6	50.0	48.7
家計動向関連	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4	45.7	40.9	45.1	46.4	47.0	49.1	48.3
企業動向関連	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4	51.5	45.0	47.9	45.0	47.1	47.1	47.1
雇用関連(参考)	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2	54.2	42.1	46.1	51.3	52.6	60.5	53.9

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和4年6月25日～30日

回答者数 170/189 名、回答率 89.9%（全国 1,813/2,050 名、88.4%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（その他小売[ショッピングセンター]）…新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたためか、最近、新幹線を含め列車利用客も大幅に増えてきて、駅に隣接する当館内に入ってくる流動客も増加傾向にある。

（観光型旅館）…休前日や休日の動きが良いことに加えて、平日の動きが３か月前の来客数の３倍となっており、確実に良くなっているといえる。

（タクシー運転手）…今月はプロスポーツの試合やイベント、コンサートが開催されており、そこに集まる県内外からの客が大勢いる。また、観光地にも多くの流入が認められる。

○「やや良くなっている」

（高級レストラン）…県民割が延長になり販売が伸びている。問合せも多くあり、来客数も伸びている。

（一般レストラン）…少しずつ宴会などが入ってくるようになっている。しかし、会社によってはまだ大人数での飲食を禁止したり、控えるよういわれているため、まだまだ景気は戻らないようである。

（旅行代理店）…今月に入り、来店を含め個人の申込みは増加傾向にある。ほぼ国内ではあるが、ようやく海外の申込みも出てきており、これまでの低迷していた状況とは明らかに違っている。また、団体においても個人ほどの増加傾向ではないものの、前月よりは問合せ案件含め増えてきており、緩やかに回復の兆しがみえてきている。

（美容室）…人に会う機会や出掛けたりする機会が増えたため、パーマやカラーをする客が増え、単価が上がっている。

（金属製品製造業）…ウクライナ情勢や半導体不足などの懸念材料はあるものの、足元の受注状況は好調である。

（公認会計士）…客の月次、決算状況から判断している。小売、飲食、サービス業は前月以前に比較して売上、利益等改善している客が増加している。建設業などは一定の売上、業績を維持しているため、全体としてはやや回復しているとみている。

（その他非製造業[飲食料品卸売業]）…世界的に小麦粉不足で麦価が非常に上がっているが、カップや袋入りの即席めんの動きは非常に好調だった。６月１日に値上げが発表されたが、店頭売価に反映されたのが中旬だったことによる。そういった例が非常に多く、前年比約１１０％と全体的に伸びている。

（人材派遣会社）…全国的に派遣需要が回復傾向になってきており、景気は徐々に回復傾向の兆しがある。

（新聞社[求人広告]）…求人広告の問合せが若干増えてきている。ただし、求人広告を掲載しても応募が少ないなど求職者の希望職種に偏りがあり、業種によっては求人難が続きマイナスに影響する可能性もある。

（職業安定所）…新規求人数はほぼ全業種で前年同月より増加し、１１か月連続で前年同月を上回っている。また、事業所からは人手不足の声が多く聞こえており、事業主都合の解雇者は１３か月連続で減少している。

○「変わらない」

（百貨店）…店頭の販売数量や客の様子を見ても、消費マインドは良い方向に上がってきている。一方で、物価上昇が少しずつ中間層に影響を与えており、お中元商戦の受注件数の減少などに現れ始めて

いる。

(コンビニ) …新型コロナウイルスの新規感染者数が少なくなってきた、夕夜間の客が増えてきた。しかし、物価高による買い控えも影響して、売上前年比は100%を少し上回るくらいである。

(衣料品専門店) …6月に入り、コロナ禍で2年間ビジネス衣料を購入していなかったビジネスマンによる購入が増加している。

(競艇場) …毎日、固定客のみ来場している。電話の問合せが減っていることで新規客が少ないことが分かる。

(設計事務所) …官公庁設計案件としては、新築案件は減少し、改修案件が増加している。受注状況は新築案件は低価格による受注が多く発生している。改修案件は価格の高止まりも増えており、何でも安くという状況ではない。ただし、物価高を考えると景気は下降しているのかもしれない。

(出版・印刷・同関連産業) …仕入原価の値上げは2弾、3弾とあるのに、販売価格はなかなか引き上げられない。販売価格の引上げに見合わなければ、受注そのものが取下げられてしまう状況である。

(建設業) …震災関連工事など、一定の受注量にて推移している。

○「やや悪くなっている」

(スーパー) …来客数が97.8%と前年を割っている。週末も前年のような来客数に戻らず来店頻度が減少している。

(家電量販店) …後半は暑くなりエアコンを中心に売上が伸びたが、テレビなどAV機器の売上は前年比90%程度と低くなっている。今後もウクライナ情勢や新型コロナウイルスの問題、値上がりなどの市場動向もあり、客の購買意欲は高まらないと予測している。

(乗用車販売店) …来客数はあり受注もあるが、長納期状態により現在の収益にならず、3か月前より若干悪くなっている。

(その他専門店[ガソリンスタンド]) …価格高騰により1回当たりの給油数量が減少している。満タン給油を避け、数量指定給油が多いことから、節約志向の強まりがうかがえる。

(遊園地) …梅雨にもかかわらず天候はまずまずだったが、新型コロナウイルスの影響が残り、学校団体の戻りが悪い。

(その他住宅[住宅展示場運営会社]) …全体の来場組数と新規来場組数が前年比で10%減少している。

(食料品製造業) …販売量が前年比10%減少となっており、3か月前と比べてやや悪化している。

(金融業) …観光宿泊関連は上向きが継続する一方で、仕入高・原料高・輸送コスト高とそれに伴う末端価格上昇により、消費意欲には陰りがみられる。

○「悪くなっている」

(一般小売店[医薬品]) …来客数も悪化しているが、それ以上に単価の下落が顕著であり、改善の兆しがみえない。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(商店街) …夏のイベントや祭りの再開が予定され、県外からの旅行客や帰省客が見込まれる。夏場に向けて人の動きが活発になる。

(乗用車販売店) …新車納車が進むにつれ下取車が続々と入荷しているため、点検整備が追い付かない状況にある。中古車の在庫確保に光が差している。

(その他小売[ショッピングセンター]) …新型コロナウイルスの感染状況や物価高といった不安要素はあるものの、現在の景気の上昇傾向は続くとみている。

(輸送用機械器具製造業) …まだ不安定要素はあるものの、良い状況となりつつある。一部事業の伸びも出てきており、今後につながる動きになってきている。

(建設業) …現在金額交渉中、契約協議中の案件の契約が進捗してくる見通しである。

(金融業) …地域の景気動向に大きな作用をもたらす夏祭りが、今年は従来どおりとはいかないまでも開催されることが大きい。夏の観光ニーズ取り込みに関連する諸業界の期待は高く、開催時期に向けて経済的な動きは顕著になるものと予想している。

(人材派遣会社) …現状推移でいけば回復の見込みは十分ある。ただし、ウクライナ情勢の影響が第3四半期以降にどう響くかという懸念がある。

(新聞社[求人広告]) …夏祭りの復活は地域に明るい話題であり、経済活動の回復に期待が持てる。

○「変わらない」

(百貨店) …新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、イベントや旅行等の再開により需要拡大が期待される一方で、食料品を始め、各種生活必需品の値上げが消費回復の妨げになることが懸念される。

(コンビニ) …なかなか景気が上向かないなか、物価の上昇具合が大きいいため、客の動きがあっても購買数量や購買意欲が上がってこない。

(衣料品専門店) …一般客の動向をみていると、円安による物価高に対して、消費に慎重になっている人が増えているようである。

(家電量販店) …季節商材は猛暑の影響で売上が上がる傾向がうかがえる。しかし、買換え需要の商品以外、新しい商品カテゴリーのものなどは伸びる要素が見当たらない。

(観光型旅館) …現状良くなっているのは、結局のところ割引の施策によるところが大きい。感染状況が現状維持のままの場合、割引施策も継続となり、変わらないとみている。

(その他企業[協同組合]) …受注案件、受注量共に激変等はみられない。原材料費等の高騰はまだまだ続くことが予想され、収益の圧迫は避けられそうにない。

(職業安定所) …ウクライナ情勢による燃料の価格高騰に加え、光熱費、工業資材、農業肥料、食料油、食料品の価格高騰が日々顕著になっており、求人数増加の好況感を打ち消している。また、事業所からは物価高などで収益幅が小さくなっているという声が多く、数か月先の景気は変わらないとみている。

○「やや悪くなる」

(一般レストラン) …物価の上昇がかなり激しく、食材によっては倍くらいの値段になっており、電気料金も上がっている。いまだ客の戻りが完璧ではないため、景気はやや悪くなるのではないかとみている。

(通信会社) …各業種において今後更なる値上げが予定されており、一部に値上げ前の駆け込み需要があるものの、景気が上向くには至らず、今後景気は更に悪くなるとみている。

(農林水産業) …エネルギー資源価格の上昇や円安が燃料費や資材費を押し上げ、コスト増となる。

(食料品製造業) …原材料価格の高騰による製品の値上げを予定しており、売上に悪影響があることは確実とみている。ここ2～3年のコロナ禍より厳しい状況になることも考えられる。

(土石製品製造業) …ロシアのウクライナ侵攻の影響等により、資材価格の高騰や物価上昇に歯止めがきかない状況であり、経営的に収益の悪化が懸念される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上